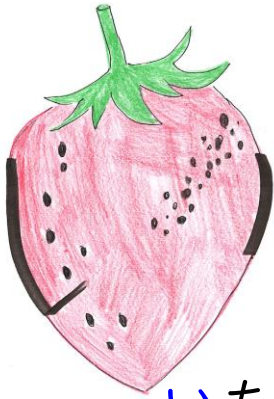


むとう先生の ひらがな アソシエーションカード

このカードは、なかなかひらがなを覚えられない子どものために武藤先生が作られたものです。
アソシエーション法とは子どもの興味のあるものや身近にある物の形を連想させて文字を覚える方法です。かんせいb
このまま使用されても、指導している子どもに合わせてご自身あるいは子どもと一緒にカードを作られても結構です。



あり



いちご



うさぎ



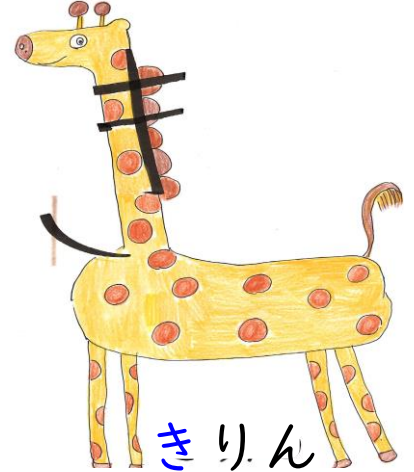
えのぐ



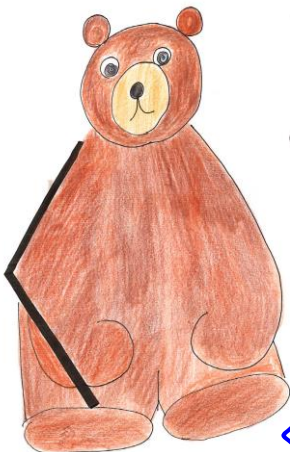
おまわりさん



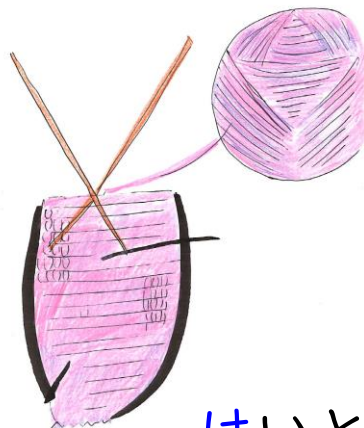
かぶとむし



きりん



くま



けいと



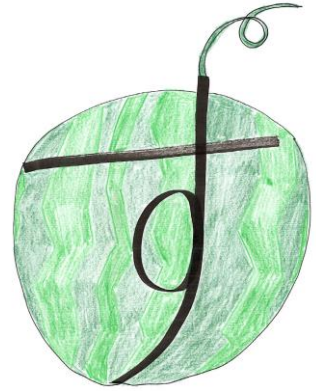
こども



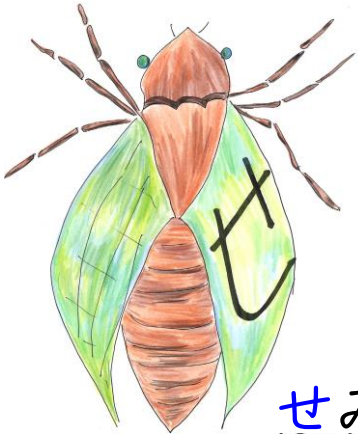
さる



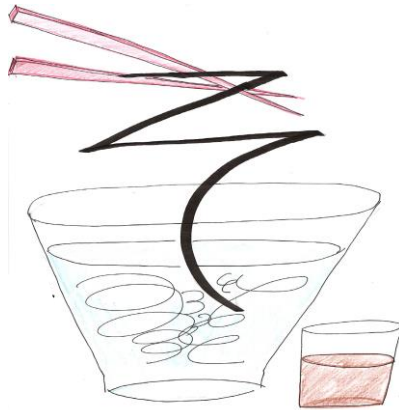
しまうま



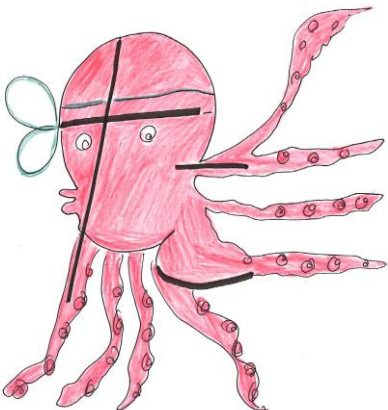
すいか



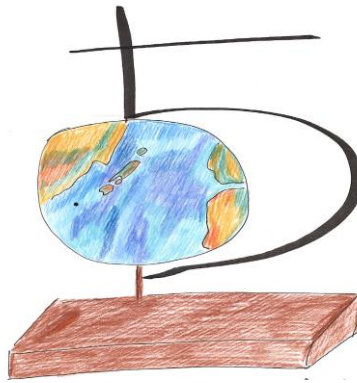
せみ



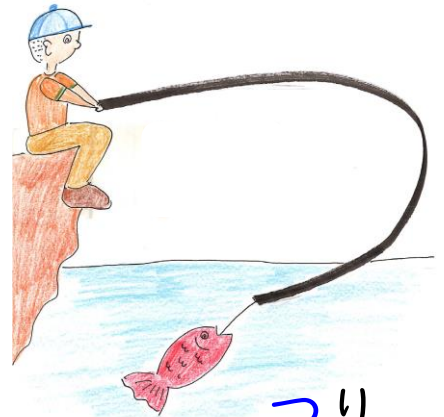
そうめん



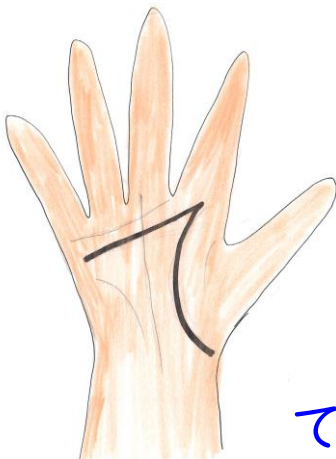
たこ



ちきゅうぎ



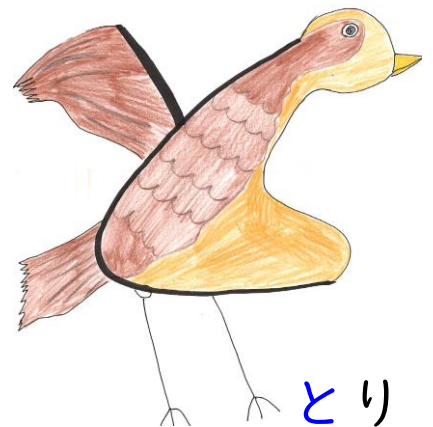
つり



て



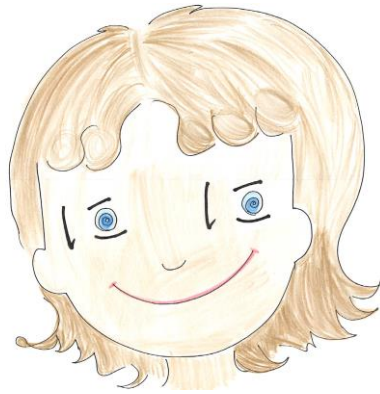
てんとうむし



とり



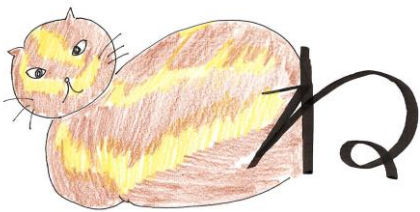
なす



にこにこ



ぬりえ



ねこ



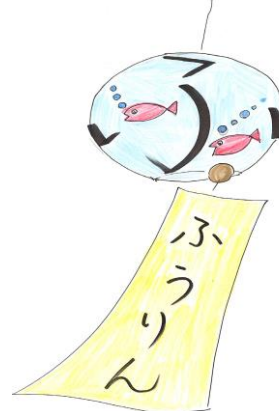
のり



はぶらし



ひまわり



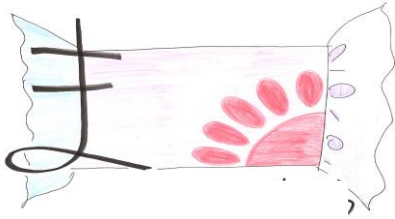
ふうりん



へび



ほん



まくら



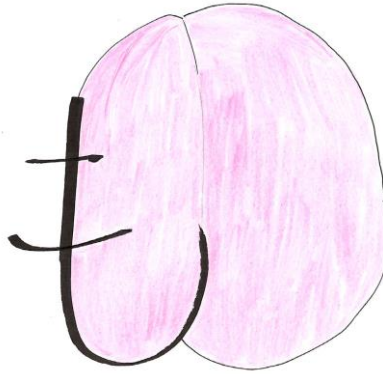
みみ



むしめがね



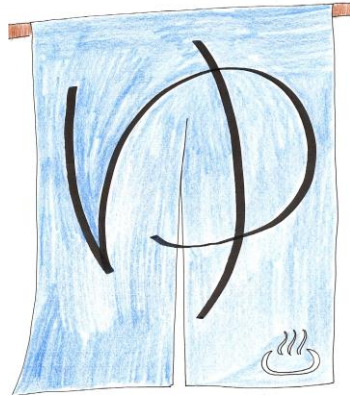
めがね



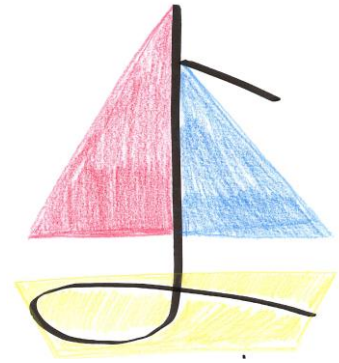
もも



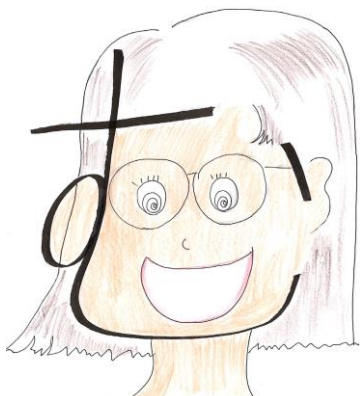
やしのき



おゆ



よっと



おとうせんせい

 <p data-bbox="343 526 510 582">らっぱ</p>	 <p data-bbox="694 526 853 582">りんご</p>	 <p data-bbox="1133 526 1300 582">かえる</p>
 <p data-bbox="343 1030 454 1086">れつ</p>	 <p data-bbox="726 1030 965 1086">ろうじん</p>	
 <p data-bbox="279 1534 391 1590">わに</p>	 <p data-bbox="574 1534 981 1590">みかんをたべる</p>	 <p data-bbox="1141 1523 1300 1579">うち</p>

☆ アソシエーションカードの使い方

- ・フラッシュカード…アソシエーションカードを見せて文字を覚えさせる
⇒そのあと「ひらがなカード」で定着させる
- ・アソシエーションカードの単語を読ませる
- ・ビンゴゲーム…4～5の升目を作って、ビンゴゲームを行う
- ・マッチング神経衰弱…同じカードを2枚ずつ用意する、
(同じ大きさのアソシエーションカードとひらがなカードでも可能)
- ・子どもと一緒にカード作り…子どもの知っていることばや子どもの名前を使って
……他にも色々工夫して様々な活用をしてください！